

道後商店街

(道後商店街振興組合)

愛媛県松山市

！取組のポイント

来街の吸引力となっている道後温泉本館の改修工事を控え、組合の連携を強化し、婦人部・青年部を中心に道後温泉周辺の観光資源への回遊性を向上。

取組の背景

「道後温泉本館建物」に依存しないまちおこし

明治のロマンを感じさせることを商店街の活性化の目標として、愛称は「道後ハイカラ通り」とし、温泉地の暖かさを持ちつつも高い志を目標に「温(ぬく)いこころのおもてな志(し)」を掲げている。現状としては道後温泉本館建物に隣接している道後商店街への来街理由は、「道後温泉本館建物が魅力的だったから」が最も多く65%を占め、道後温泉本館に大きく依存した観光地であることが言える。また、観光目的地は道後温泉周辺に限定され、その他の観光資源への回遊性は非常に乏しい状況となっている。道後温泉本館は1894年に改築したが、老朽化対策である本館保存修復工事期間中に観光客の来訪数を維持することが課題で、商店街の魅力の向上や、観光スポットを充実させ道後温泉周辺の観光資源への回遊性を図っていくこと、外国人客増加にともなう対応などが求められていた。

取組の内容

歴史ある道後の魅力を伝えつつ新しい挑戦

商店街の魅力創造と周辺観光資源への回遊の取組として、①一遍上人生誕地宝蔵寺の再建とことばのまちづくり、②婦人部による美商女マップ作成・配布、③青年部による新しい道後への挑戦活動と外国人対応のFreeWiFiの整備、④村めぐり委員会の道後村めぐりを実施した。

①に関しては、国の重要文化財である木造一遍上人立像が焼失した事故の直後から発足した「もういっぺんプロジェクト」の一環として、一遍上人の起き上がりこぼし「もういっぺん」を一遍上人の念仏と復興への祈りを込めた手作りオリジナル人形として販売している。また、絵手紙の創始者である道後生まれの小池邦夫氏が、「道後はことばの源泉地」と唱えたことを受け、松山・道後を「あったまる一ど」とし、道後商店街の柱掲示板に地元の人書いた手がきの絵手紙約250枚を貼る「ことばのまちづくり」に取り組んでいる。

②に関しては、先進地ヒアリングを実施して内容を協議し、道後らしい美商女(おかみさん)との出会いとコミュニケーションを楽しんでもらおうと美商女マップの作成・PR・配布を実施した。

③に関しては、歴史ある道後の魅力を伝えるとともに新しい道後への挑戦を試行しており、「道後湯玉音頭・ボンダンス」の創作運動に取り組んだ。また、道後温泉本館と伊予鉄道道後温泉駅を結ぶ商店街内にFreeWiFiを整備。青年部が共通ロゴのステッカーを柱に貼り、外国人観光客らの利便性の向上と地域活性化を目指した。

④に関しては、観光スポットのすべてのスタンプを押せば道後村名誉村民証と記念品が贈られるスタンプラリーを実施している。順序は自由で有効期限もないので、一度に回りきれなくても次に道後に訪れたときに再チャレンジできる。

道後商店街



取組の成果

それぞれの取組が輪を広げ賑わいにつながる

①オリジナル人形の売上の半分は、宝蔵寺再建とその門前の上人坂に足湯などの休憩スポットを設置する費用に充てる予定である。また、お寺の境内には本堂のほか一遍上人堂が完成し、新たな道後の観光名所が誕生した。

②マップの役割に関して来街者にアンケートを実施し、その結果をもとに毎年改善しているほか、現在はマップを用いて商店街内でのスタンプラリーを実施(景品は手作り人形)している。また、商店街のおかみさんたちを道後商店街だけでなく道後地区の観光資源として活用するため、積極的に広報し、来街者にアピールすることで、回遊のきっかけ作りや顧客満足度の向上につなげている。

③道後湯玉音頭・ボンダンスは輪が広がりを見せて松山の中央商店街や他の地域への交流のツールとなってきている。

④道後村の村民は現在2万7000人であり、今も増え続けている。

ボンダンス



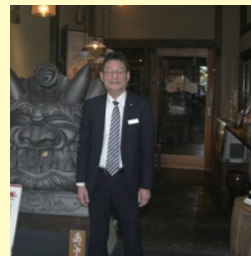
実施体制

組合の組織は、理事会の縦割りの下部組織として婦人部・青年部があり、且つ、より実効性を持たせるため各事業の予算・運用チェック・対策の検討を行う総務委員会があり、観光の推進・スタンプ事業・安全防災対応のための観光委員会、村めぐり委員会、自主防災隊などの横断的な組織が存在するマトリックス的な組織体制となっている。

なお、取組の①は道後商店街振興組合理事長・道後温泉旅館協同組合理事長・道後温泉誇れるまちづくり推進協議会会長を发起人として進めている。

キーパーソンからのコメント

道後商店街振興組合
理事長 三好 隆



宝厳寺の再建とことばのまちづくり

地域資源である宝厳寺が全焼し、国の重要文化財である木造一遍上人立像も失われ、それを契機に貴重な歴史の継承と道後温泉の活性化を図ろうと「宝厳寺の再建」に向けて地域一丸となりました。そこで、一遍上人の起き上がりこぼし「もういっぺん」で、逆境に転んでも起き上がる不屈の精神を手作りオリジナル人形に込め、宝厳寺の再建と新たなまちづくりに取り組んでいます。

また、絵手紙の創始者である道後生まれの小池邦夫氏の唱える「道後はことばの源泉地」は、人の心をあたためる「あったまろーど」として、道後の魅力発信と回遊の流れを作り始めています。

連携により「日本最古の道後温泉」を後世に

当組合では、理事会・婦人部・青年部を中心に、「日本最古の道後温泉」を心温まるおもてなしの観光地とするため、愛媛県や松山市といった行政、道後温泉誇れるまちづくり推進協議会や愛媛県中小企業団体中央会、道後温泉旅館協同組合などと一体となった活動を行っています。

「オール道後」の取組を、県内の商店街にも連携の輪を広げ、『次世代の100年の“景”』として、脈々と沸き立つ歴史ある温泉地「道後」を後世に伝え、残していきたいと考えています。

基本データ

所在地	愛媛県松山市道後湯之町
人口	約51万人(松山市)
電話番号	089-931-5856
員数	62名
店舗数	64店舗(買回り品小売店3、最寄品小売店46、飲食店12、サービス店1、その他2)
商店街の類型	超広域型商店街
主な客層	観光客(国内)、学生・若者、観光客(海外)

商店街概要

道後商店街は、伊予鉄道の路面電車の終点・道後温泉駅から道後温泉本館を結ぶ約250mのL字型アーケードで、両側に約60軒の商店が連なっている。

特徴としては、道後温泉本館が明治時代に改築され、その門前市的に発展してきたことから、明治のロマンを感じさせることを活性化の目標としている。また、各店舗は朝9時から夜の10時まで営業しており、浴衣姿で気の向くままにそぞろ歩きができる観光地商店街ならではの風景が楽しめる商店街となっている。